



「はじめる、ファミサポ つづける、ファミサポ」



…全国津々浦々約 931 か所（R2.11 時点）にのぼる「ファミリー・サポート・センター」を取りまとめている運営支援団体の令和 4 年度案内冊子にこう記されています。

『女性労働協会は、地域の中での子育て支援活動の「はじめる」「つづける」を応援しています。』

今の向日市ファミリーサポートセンターの状況を表すのにもふさわしいと、表紙に記しました。市民の皆さまが「ファミサポに登録したい！」「子育てを応援したい！」を“はじめるファミサポ”

「会員さんとつながってほしい！」「応援し続けたい！」を“つづけるファミサポ”に。

向日市ファミリーサポートセンターは協会の指導や助言に基づき日々運営しています。コロナ禍でデジタル機器が身近になった方も多いのでは？ぜひこの機会に、ホームページなどご覧になって、協会へのご理解を深めていただければと思います。また、「つながるファミサポ」のために登録の更新手続きをご案内した方、転居による住所変更やご出産後のお子様の追加情報など、随時センターにご連絡をお願いいたします。

個人情報の保護について

個人情報保護法という法律が施行されて 15 年経ちましたが、いったい「個人情報」って何を指すの？『生存する個人に関する情報で、特定の個人を識別することができるもの』すべてをいいます。

（参考：個人情報保護法第2条）

センターでは、情報の保護に努め活動の橋渡しをしています。必要なことからは共有しながら、もちろん他言は慎み、信頼を築いていけるような関係づくりを目指しています。昨今、ご近所での立ち話も控える時代になりましたが、その反面つながりを求めてインターネット上での SNS（ソーシャルネットワークサービス）などの交流サイトは大いに人気で、世代を問わず多くの人が利用しています。

今の子どもたちとは違い、情報教育を受けず大人になってからこれらのものに接すると、ある種、個々の理解に偏りがあることも否めません。今年度の養成講座では『情報の取り扱い』についても学びました。発信する時は対象者があれば必ず了解を得て、見えぬ犯罪などの危険性も心に留めながら、センターでは、会員のみなさまが安全で有効に利用されることを望みます。

編集後記

熱帯のようなうだる暑さ、驚くほどの降雨量、ここはほんとに日本？と疑いたくなるようなひと夏でした。収束が見えないコロナ禍において不運にも罹患された方々、またこの夏の各地の水害により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

物心ついた時からマスク生活の子どもたちを不憫に思いつい感傷的になりますが、元気な声が聞こえるとその逞しさに力が湧いてきます。金木犀の香りがマスク越しに届く、ささやかな喜びの秋の始まりです。



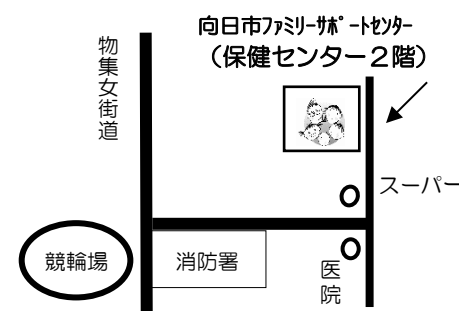
向日市ファミリーサポートセンター

〒617-0002

向日市寺戸町東野辺 31

保健センター2 階

TEL/FAX (075) 932-7831



むこう…… ファミサポ

はじめるファミサポ… つづけるファミサポ…



新センター長からごあいさつ

この度、10 月よりファミリーサポートセンターの所長に着任しました東田でございます。よろしくお願いいたします。

ファミリーサポートセンターでは子育て中の家族がずっと笑顔でいられるように人と人をつなぎ支援の輪を広げ、安心して子育てができる環境と地域づくりを目指しています。平成 15 年 4 月の初活動から令和 3 年 10 月の現在までの 18 年間、ただ預かるだけではなく、子どもの成長を通してその家族と地域が絆を深めていくことを目的として活動してきました。

近年北部を含む宅地開発が進み、依頼数も増え活動もより活発になっていたのですが、新型コロナウイルスの脅威が全世界を襲ったことで、ファミサポの活動においても抱っこが必要な小さな子どもの預かりなど、かなりの制約がかかることになりました。

世の中、オンラインでの勉強や仕事が普及しつつある状態ですが、『子育て支援』はインターネットでできるものばかりではなく、やはり対面して実際につながっていくことが支援を必要としている子育て中の家族にとっては大きな力になると改めて思います。

子育てのお手伝いをしてほしい『依頼会員』、地域の子育て支援のお手伝いをしたい『援助会員』、双方がその願いを叶え地域の絆がより深まっていくように、私たちは安心安全な対策を取りながら、活動の橋渡しをしていきたいと思っています。

今後とも地域の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

所長 東田 みずづ



令和3年度 子育てサポーター養成講座



6月28日(月)～7月21日(水)全6日間の日程で開催しました。緊急事態宣言の発令により延期開催となりましたが、のべ15名の参加があり、10名の方が援助会員として登録されました。講座では子どもの発達に応じた寄り添い方、コロナ状況下における子育て支援の在り方、個人情報の大切さなどを学びました。また「現援助会員との交流会」では活動中の援助会員さんの体験談を聞いて援助活動を身近に感じてもらいました。講座の様子と感想です。



自分で考え自分で決める力を尊重しながら見守って子どもたちの成長・発達を楽しみたいと思います。



交通安全教室

発達の年齢にあった遊び、危険なことが起こるかもしれない場面など禁止の言葉「ダメ」ではなく、肯定的な言葉掛けができるようにしていけたらいいなと思います。



子どもたちの可能性、それを大切にしたいと思います。年齢によって対応は変わりますが、子どもの思いをまずは受け止めたいです。



現援助会員さんとの交流会

個人情報の取り扱いは「つい、うっかり…」が許されないことを十分意識しなくてはいいなと思いました。



子ども自身の「育ち」を応援できるようになりたいです。



コロナ禍で今の子どもたちはたくさんの制限があり頑張っている中、私はファミサポで助けもらったので自分も何か役に立てればと思いました。



援助会員さんに

ちょっと聞いてみたいな！
あんなこと、こんなこと・・・

アドバイザーに

Q 事前のお顔合わせのとき、どんなことに注意されていますか？

A よく動く、おとなしい、お母さんとのやり取りなどお子さんの様子をみています。退屈そうにしていたら一緒に遊んだり、緊張していたら話しかけるようにしています。赤ちゃんの場合は一日の行動、食欲、排便、お昼寝等をお母さんから教えてもらいます。

Q 預かり中はどんなことをして過ごしていますか？

A 折り紙、写し絵、お絵かき、紙で作った輪投げ、コマ回し、紙ひこうきの飛ばしあいっこ、あたっても痛くないスポンジボールで遊んでいます。絵本が好きなお子さんには読み聞かせをしています。

Q 援助会員宅でおむつを交換した時の処理はどうしますか？

A 排泄物はお子さんの体調管理の目安になります。便の状態は報告し、固形の場合はトイレで流しておむつはお母さんに持ち帰ってもらいましょう。

Q ファミリーサポートセンターでは無償での支援活動はありますか？

A コロナウイルス流行前は「子育てセンター」を利用しているお母さん対象の「すこやか講座」開催時に無償の保育ボランティアとしてご協力いただいていた。コロナが落ち着いたなら再開できるのではないかと考えています。

Q 食事はどのようなものを提供していますか？

A ご家庭の食事を一緒にいただくという形で提供をお願いしています。その場合は預かる前に調理を済ませていただいています。アレルギーをお持ちのお子さんは特に注意して依頼会員さんとの確実な情報交換をしてもらっています。コンビニやスーパーでおにぎりを一緒に選ぶのもいいですね。

Q コロナ状況下での活動で気をつけていること、心がけていることはありますか？

A 「コロナウイルス感染防止にともなう援助活動についてのお願い」をご覧ください。依頼がきたら・・・
コロナに対する予防アンテナは個々の仕事、家庭環境などにより様々です。大きな感染の波がきたときは自粛の傾向に向かいますが、「できるかできないか、やってみようと思うか思わないか」の基準で判断してください。今後も会員の皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

援助会員・両方会員さま
後期の予定

※新型コロナウイルス感染状況により年度当初の予定から日程を変更しています。

おでかけ学習会
R3.11/24(水)
向日市のバスで
京(みやこ)あんしん
こども館へ行きます。

フォローアップ講座
R3.12/20(月)
10:00～12:00
「今と昔の妊娠・出産
子育て事情の違い」

日赤幼児安全法講習
R4.1/19(水)
対象者はセンターから
個別にお知らせします。

おめでとうカード作り
R4.3/4(金)
10:00～12:00
ご参加いただける方はセン
ターへご連絡ください。